

平成29年度
足利市の概要



日本遺産「史跡足利学校跡（写真左学校門）」

足利市議会事務局

足利市民憲章

(昭和45年5月5日制定)

私たちは、自然にめぐまれ、はるかなる昔から文化がひらけていた学問のまち、産業のまち足利市を心から愛し、より美しく、より豊かにするためにこの憲章を定めます。

一、足利市は日本最古の学校のあるまちです。

教養を深め、文化のかおり高いまちをつくり、すぐれた伝統をさらに発展させましょう。

一、足利市は美しいまちです。

めぐまれた自然を愛し、清潔で健康なまちをつくりましょう。

一、足利市は善意のまちです。

理解と信頼をもって、みんなのしあわせのためにお互いに助け合いましょう。

一、足利市は希望にみちたまちです。

明るい家庭をつくり、次代になうこどもに誇りと希望をもたせましょう。

一、足利市は伸びゆくまちです。

しごとを愛し、みんなの創意で時代の進歩に調和した活気のあるまちをつくりましょう。

素通り
禁止
足利

◆ 足利シティープロモーションキャッチコピー
「素通り禁止！足利」を合言葉に、市民と行政が
一体となり「素通りできない、させない」魅力あ
るまちを目指しています。

I 市勢概要

1. 沿革

足利市は関東平野の北端に位置し、市の北部には日光連山に連なる山々、中央には渡良瀬川が流れるなど、豊かな自然に囲まれています。そうした中で早くから文化が花開き、今も市内には国宝や国史跡を初めとする数多くの文化財が遺されています。なかでも日本最古の学校といわれる日本遺産の「史跡足利学校跡」や、室町幕府を開いた足利氏の氏寺である「史跡足利氏館跡（鏡阿寺）」

は、それぞれ「学校様」、「大日様（鏡阿寺の御本尊・大日如来に由来）」として広く市民に親しまれ、本市のアイデンティティを形成する重要な歴史遺産となっています。

また、上古の時代には関東地方の政治上の重要地として栄え、奈良時代には足利の織物が朝廷へ献上されるなど、古くから「織物のまち」として知られました。江戸時代に入ると絹織物の主産地として発展し、大正末期から昭和初期にかけては特産の「足利銘仙」が全国にその名を高め、戦後に至ってからはトリコット産業が隆盛を極め、全国的な主要産地として、さらに、メリヤス、婦人・子供服などを含めた総合的な繊維産業のまちとして発展を遂げてきました。近年はプラスチック製造、一般機械器具、輸送用機械器具、化学合成樹脂、アルミ金属製品や紙、バルブ、ゴム工業が発展し、電気機械器具、薬品工業等も含めた総合的な商工業都市となっています。



鏡阿寺社（写真：足利市文化財公社）



日光山からのまち様子



史跡足利学校（写真：孔子道と方丈）



鏡阿寺（写真：本堂の棟瓦）

こうした中において、本市は昭和41年に第1次振興計画を策定以来、市民が健康で明るく幸せに暮らせるまちづくりを一貫して進め、「歴史と文化を育み、ひとが輝く都市あしがが」を目指して市民と行政が心を一つに、目標実現に向けた市政の展開を図っています。

2. 地勢と面積等

(1) 地 勢

足利市は東京から北へ約80km、関東平野と山岳地帯の境にあります。栃木県の南西部に位置し、市の西及び南は群馬県と接しています。県内は佐野市、群馬県では桐生市、太田市、館林市、邑楽郡邑楽町に隣接し、西毛地域のほぼ中心部にあたります。気候は比較的溫和ですが、冬から春先にかけて“からっ風”または“赤城おろし”などと呼ばれる、北西からの強い季節風が吹くことがあります。



(2) 位 置

- ◆面積 177.76km² (東西 18.8km、南北 19.1km)
- ◆海拔 最高 662.9m 最低 20.2m
- ◆市役所の位置 東経 139度27分 北緯 36度20分 海拔 34.54m

3. 市域の変遷

合併年次	合併町村名	人口(人)	世帯(世帯)	面積(km ²)
大正 10. 1. 1	(市制施行)	36,648	6,564	9.40
昭和 26. 3. 30	毛野村	63,750	12,691	23.07
# 28. 4. 1	山辺町	78,362	15,988	29.95
# 29. 8. 1	三重村、山前村	91,346	18,624	44.31
# 29. 11. 1	北郷村、名草村	102,949	20,670	89.79
# 34. 4. 1	富田村	106,940	21,839	99.66
# 35. 7. 1	矢堀川村の一部	110,703	22,554	103.56
# 37. 10. 1	御所町、板西町	145,994	31,399	177.68

※ 現在の面積は177.76km²(平成26年10月 1日時点、国土地理院公表)です。

4. 市 章



日本最古の書物『古事記』に出てくる『倭建命(やまとたけるのみこと)』の御子、『足鏡列王(あしかがゆわきのきみ)』が足利市の地を治めたという言い伝えから、古鏡(神鏡)を輪郭にして中央に『足』の文字を配しています。

大正3年1月14日、町章として制定したものを、大正10年1月1日の市制施行後も市章としています。

5. 市の木、市の花

◆市の木 : かえで(昭和49年 9月21日選定)

◆市の花 : つつじ(昭和49年 9月21日選定)



緑形公園の「もみじ谷(原野)」と「つつじの園(園裏)」

6. 人 口

(1) 平成29年4月1日現在の推計人口(単位:人、世帯、km²)

人 口			世帯数	1世帯当 たり人口	1km ² につき	
総数	男	女			人口	世帯
147,964	72,520	75,444	60,730	2.4	832	342

(2) 人口動態の推移(単位:人)

区 分	自然動態			社会動態			人口増加数 (A+B+国境開港による調整)
	出生数	死亡数	自然増加数 (A)	転入数	転出数	社会増加数 (B)	
昭和50年	3,399	1,303	2,096	3,120	3,974	△854	1,242
55年	2,014	1,147	867	4,116	4,810	△694	173
60年	1,803	1,129	674	4,135	4,435	△300	374
平成 2年	1,516	1,293	223	5,567	5,641	△74	149
7年	1,442	1,360	82	5,507	5,729	△222	△140
12年	1,409	1,451	△42	5,637	5,966	△329	△371
17年	1,310	1,755	△445	4,656	5,145	△489	△934
22年	1,125	1,775	△650	3,921	4,676	△559	△1,405
27年	949	1,777	△828	4,302	4,455	△153	△914

(資料:住民基本台帳、外国人登録)

(3) 人口・世帯の推移 (単位：人、%)

区 分	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
総人口	167,696	100.0	165,828	100.0	163,140	100.0	159,756	100.0	154,530	100.0	149,452	100.0
増加数	30	—	△1,868	—	△2,688	—	△3,384	—	△5,226	—	△5,078	—
増加率	0	—	△1.1	—	△1.6	—	△2.1	—	△3.3	—	△3.3	—
年少人口 0～14歳	29,454	17.6	25,092	15.1	22,503	13.8	21,203	13.3	19,530	12.6	17,432	11.7
生産年齢人口 15～64歳	115,462	68.9	113,857	68.7	109,620	67.2	103,883	65.0	95,137	61.6	86,168	58.0
老年人口 65歳以上	22,699	13.5	26,639	16.1	30,943	19.0	34,662	21.7	39,351	25.5	45,047	30.3
世帯数	52,175	—	54,960	—	57,119	—	58,399	—	59,134	—	60,186	—
増加率	6.2	—	5.3	—	3.9	—	2.2	—	1.3	—	1.8	—
1世帯当人員	3.2	—	3.0	—	2.9	—	2.7	—	2.6	—	2.5	—

※ 総人口には年齢不詳を含みます。

(資料：国勢調査)

7. 就業構造

- ・ 第1次・第2次産業の減少と第3次産業の比率増加
- ・ 農業就業者の減少

産業別就業人口の推移 (単位：人、%)

区 分	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
総 数	83,513	100.0	86,374	100.0	86,014	100.0	83,694	100.0	79,692	100.0	73,847	100.0
第1次	3,612	4.3	2,876	3.3	2,446	2.8	2,222	2.7	1,873	2.4	1,466	2.0
うち農業	3,594	—	2,849	—	2,415	—	2,201	—	1,865	—	1,446	—
第2次	43,334	51.9	43,423	50.3	40,289	46.8	37,082	44.3	32,223	40.4	28,960	39.2
うち製造業	38,250	—	37,756	—	33,637	—	30,701	—	26,595	—	22,155	—
第3次	36,490	43.7	40,020	46.3	43,137	50.2	44,076	52.7	45,118	56.6	44,262	59.9
うち卸小売業	16,849	—	17,588	—	18,150	—	17,635	—	13,498	—	12,339	—
うちサービス業	13,154	—	15,232	—	17,061	—	18,283	—	—	—	—	—

※ 総数には分類不能の産業を含みます。

(資料：国勢調査)

平成17年及び平成22年のサービス業については産業分類の変更により※集計です。

8. 都市宣言

- ・保健文化都市宣言（昭和38年 9月27日議決）
- ・緑化推進都市宣言（昭和57年12月23日議決）
- ・平和都市宣言（平成 2年 3月23日議決）
- ・ゆとり都市宣言（平成 2年 9月26日議決）
- ・納税推進都市宣言（平成 5年12月21日議決）
- ・交通安全都市宣言（平成 7年 6月27日議決）
- ・環境都市宣言（平成 8年12月24日議決）
- ・福祉都市宣言（平成11年 3月19日議決）
- ・歴史都市宣言（平成12年 6月20日議決）



「あしががフラワーパーク」の大樹（県立文化財）

9. 姉妹都市・友好都市

昭和56年に市制60周年記念事業の一環として姉妹都市検討委員会が設置され、候補都市について国外（中国山東省曲阜県）、国内（鎌倉市）各1カ所の答申を受け、姉妹都市提携推進委員会を中心に友好交流と提携の推進を図った結果、国内外とも提携（締結）が実現しました。

また、平成2年に市制70周年記念事業の一環として、姉妹都市委員会において自由主義圏友好都市検討小委員会が設置され、候補都市にアメリカ合衆国イリノイ州スプリングフィールド市の答申を受けて提携の推進を図った結果、新たな姉妹都市の提携（締結）が実現しました。

【姉妹都市】

- ・鎌倉市（昭和57年 4月26日締結）
- ・アメリカ合衆国イリノイ州スプリングフィールド市（平成 2年10月10日締結）

【友好都市】

- ・中国山東省済寧市（昭和59年 9月21日締結）



伊万里、鶴島を冠する世界最大級の
の原紙製提灯「東田提灯籠」



尾瀬北流が「足利行楽山園のつげ橋」と
共に「行楽山浄因寺」（県立文化財）



森高千重さんのヒット曲
「渡辺つげ橋」の歌謡に登場する夕日

II 平成29年度予算

◇ 歳入歳出予算の総括

(単位：千円、%)

会 計 別		平成29年度 A	平成28年度 B	比較	
				A-B	(A-B)/B
一 般 会 計		52,600,000	52,700,000	△100,000	△0.2
特 別 会 計	介護保険（保険事業勘定）	12,300,000	12,292,000	8,000	0.1
	国民健康保険（事業勘定）	20,212,000	19,830,000	382,000	1.9
	後期高齢者医療	1,617,000	1,644,000	△27,000	△1.6
	太陽光発電事業	55,400	58,800	△3,400	△5.8
	公設地方卸売市場事業	158,000	170,000	△12,000	△7.1
	農業集落排水事業	22,000	22,300	△300	△1.3
	公共下水道事業	5,744,000	5,540,000	204,000	3.7
	堀里・コータン下水道処理事業	13,000	13,400	△400	△3.0
	水道事業	3,944,000	3,746,000	198,000	5.3
	工業用水道事業	190,000	186,000	4,000	2.2
	計	44,255,400	43,502,500	752,900	1.7
	合 計		96,855,400	96,202,500	652,900

◆ 一般会計歳入予算

(単位：千円、%)

款	平成29年度		平成28年度		比 較	
	当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	A-B	(A-B)/B
10 市 税	18,883,811	35.9	18,721,334	35.5	162,277	0.9
12 地方譲与税	460,001	0.9	450,001	0.9	10,000	2.2
13 利子割交付金	12,000	0.0	25,000	0.0	△13,000	△52.0
14 配当割交付金	90,000	0.2	90,000	0.2	0	0.0
16 株式等譲渡所得割交付金	70,000	0.1	40,000	0.1	30,000	75.0
18 地方消費税交付金	2,550,000	4.8	2,630,000	5.0	△80,000	△3.0
20 ゴルフ場利用税交付金	65,000	0.1	70,000	0.1	△5,000	△7.1
25 自動車取得税交付金	70,000	0.1	70,000	0.1	0	0.0
27 地方特別交付金	90,000	0.2	86,000	0.2	4,000	4.7
30 地方交付税	6,100,000	11.6	6,400,000	12.1	△300,000	4.7
35 交通安全対策特別交付金	28,000	0.1	28,000	0.0	0	0.0
40 分担金及び負担金	522,390	1.0	556,732	1.1	△34,142	△6.1
45 使用料及び手数料	1,461,062	2.8	1,499,357	2.8	705	0.0
50 国庫支出金	7,240,882	13.8	7,576,054	14.4	△335,172	△4.4
55 国庫支出金	3,942,087	7.5	4,331,561	8.2	△389,474	△9.0
60 国庫収入	214,703	0.4	199,227	0.3	75,476	54.2
65 寄附金	6,211	0.0	6,601	0.0	△390	△5.9
70 繰入金	1,882,630	3.5	2,106,825	4.0	△254,175	△12.1
75 繰越金	300,000	0.6	300,000	0.6	0	0.0
80 諸収入	4,149,403	7.9	4,229,598	8.0	△80,105	△1.9
85 市債	4,491,800	8.5	3,362,800	6.4	1,109,000	32.8
歳入合計	52,600,000	100.0	52,700,000	100.0	△100,000	△0.2

◆ 一般会計歳出予算【目的別】

(単位：千円、%)

款	平成29年度		平成28年度		比 較	
	当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	A-B	(A-B)/B
10 議会費	388,816	0.7	364,662	0.7	24,154	6.6
15 雑費	3,764,383	7.2	3,830,057	7.3	△65,664	△1.7
20 民生費	20,313,022	38.6	20,515,272	38.9	△202,250	△1.0
25 衛生費	3,594,454	6.8	3,554,486	6.7	39,969	1.1
30 労働費	54,193	0.1	60,760	0.1	△6,573	△10.8
35 農林水産業費	467,100	0.9	564,429	1.1	△97,329	△17.2
40 商工費	4,680,505	8.9	4,317,492	8.2	363,013	8.4
45 土木費	7,676,112	14.6	6,996,905	13.3	679,207	9.7
50 消防費	1,618,592	3.1	1,635,656	3.1	△17,064	△1.0
55 教育費	4,927,394	9.4	5,780,076	10.9	△842,282	△14.6
60 災害復旧費	6	0.0	6	0.0	0	0.0
65 公債費	5,015,412	9.5	4,990,593	9.5	24,819	0.5
70 諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
75 予備費	100,000	0.2	100,000	0.2	0	0.0
歳出合計	52,600,000	100.0	52,700,000	100.0	△100,000	△0.2

Ⅲ 議 会

1 議員数

◆条例定数 24人（現員 24人 / 平成29年5月1日現在）

（議員定数の推移）

改正前の地方自治法では本市の議員定数は人口規模により40人でしたが、「足利市議会の議員の定数を減少する条例」により、昭和41年9月及び昭和61年3月の2度にわたり、それぞれ36人、32人と4人ずつの定数削減を実施しました。

その後、地方自治法の改正（平成15年1月1日施行）により、人口10万人以上20万人未満の市においては34人を超えない範囲内で条例を定めることとなり、本市議会では議会改革推進協議会において慎重な検討を重ねた結果、平成14年9月に定数32人を2人削減し30人に改め、平成18年6月に定数30人を2人削減し28人に改めました。さらに、厳しい社会経済情勢を踏まえ、平成22年6月に定数28人を4人削減し24人に改めました。なお、改正された条例の規定は、平成23年4月の一般選挙から適用されています。

2 委員会（平成29年5月1日現在）

(1) 常任委員会等

名 称	人員	所 管 事 項
総務企画防災 常任委員会	8	総務部、政策推進部、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管事項、他の常任委員会の所管に属さない事項
民生環境水道 常任委員会	8	健康福祉部、生活環境部及び上下水道部の所管事項
教育経済建設 常任委員会	8	産業観光部、都市建設部、教育委員会及び農業委員会の所管事項
議会運営委員会	5	議会運営に関する事項等の調査、議案・陳情等の審査
議会改革推進協議会 ※議長を除く（全議員で構成）	21	行政改革、地方分権を踏まえた本市議会の改革に関する総合的な事項
広報委員会	6	定例会ごとに発行する一般質問等の審議状況を中心とした広報紙の編集・発行や市議会ホームページの管理など市議会の広報に関する業務
議会報告会 実行委員会	6	議会報告会開催に係る具体的な運営方法の決定に関する事項

(2) 特別委員会

・ 予算審査特別委員会

当初予算の議案審査のために設置し、全議員を委員として構成する。総括質疑後、常任委員会ごとに構成する各分科会に再付託して審査を行う。

・ 決算審査特別委員会

会計決算の審査を行うために設置し、全議員を委員として構成する。

3 会派等 (平成29年5月1日現在)

・ あしがが未来倶楽部 11人(自由民主党所属、無所属)

・ 自民党議員会 3人(自由民主党所属)

・ 公明党議員会 3人(公明党所属)

・ 会派を構成しない議員 7人(自由民主党所属、日本共産党所属、民進党所属、無所属)

※ 議会基本条例の規定により、正副議長は会派を離脱しています。

4 議会費予算

平成29年度当初予算額 388,816千円(一般会計予算総額の0.7%)

(単位:千円)

費目	予算額	内容
報 酬	144,960	議員報酬
給 料	40,883	事務局職員給料
職 員 手 当 等	79,988	議員・職員期末手当
共 済 費	70,934	議員共済給付費公費負担金、職員共済費
旅 費	1,827	費用弁償、管外旅費
交 際 費	450	
番 用 費	3,324	議会広報印刷費、自動車維持費等
委 託 料	1,879	本会議会議録調製委託等
備 品 購 入 費	113	音響設備関係備品等
負担金、補助及び交付金	18,895	政務活動費、会議負担金等
そ の 他	25,563	
計	388,816	

5 議員報酬 (平成29年4月1日現在)

・ 議 長 587,000円

・ 副議長 537,000円

・ 議 員 498,000円

6 政務活動費

・ 1人当たり年額 720,000円

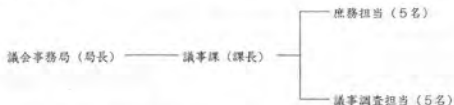
7 議会図書室

官報、県公報、市広報、衆議院・参議院会議録、県議会会議録、市議会会議録、その他地方自治に関する刊行図書、新聞、雑誌等を所蔵し、議員並びに市職員等の利用に供しています。(地方自治法第100条第19項の規定により附置)

※ 平成29年4月1日現在蔵書数 約1,200冊(年鑑資料等を除く)

8 事務局体制

(1) 組織図



(2) 職員数(平成29年4月1日現在)

12名(内訳:局長1名、課長1名、副主幹2名、主査2名、主任1名、主事3名、嘱託職員1名、補助職員1名 ※うち2名育休中)

9 行政視察受入状況

- ・平成26年度 15団体 93人
- ・平成27年度 13団体 86人
- ・平成28年度 17団体 155人